

栃木市市民会議 全体会 会議要旨

日 時： 令和4年9月27日（火） 午後7時～8時30分

会 場： 栃木市役所 正庁

出席者数： 委員27名、事務局9名

1 開会

2 あいさつ

会 長：この2年半は新型コロナウイルス感染拡大の影響で市が実施しているイベント等がかなり影響を受けている。それにも関わらず、関係者の努力で持ちこたえている印象。コミュニケーションのデジタル化が社会に浸透しているが、直接つながることも大事。人と人とのつながりを回復することを考えながら市民活動に関わり、市との協働を進めてほしい。

3 議事

1) 議題1（総合計画部会外部評価について）

部会長より総括

部会長：7月26日から8月4日にかけて、各グループ2日間ずつ総合計画部会を開催し、外部評価を実施した。私もできる限り同席し、委員の皆様が熱心に議論するところを拝見した。

非常に感心したのは、外部評価をするにあたり、委員の皆様が資料をしっかりと読み込み、かつ、付箋にびっしりと書き込んでいた点。

膨大な施策の外部評価欄には、皆様の思いが書き込まれていると思う。

本日は、8グループの成果が出揃ったということで報告を楽しみに聞かせていただく。

本日が一つの区切りになると思う。委員の皆様、本当にお疲れ様でした。

グループごとに各委員より、作業結果を報告

質疑応答

〔全大会終了後の進め方について〕

会 長：本日の市民会議で外部評価の報告及び質疑があるが、この結果は今後どのように市政に反映されていくのか。

事務局：本日全体会議で報告及び質疑いただいた内容について、10月19日に開催予定の市役所内の最高会議である庁議に報告し、市役所内で情報の共有を図ることになっており、外部評価でいただいた意見を参考にしながら、今後の施策

や事務事業を進めるにあたって修正及び調整を図っていく。
同時に、来年度予算や再来年度の実施計画の編成時期でもあるので、財政的にも反映させていく。

〔内部評価における受益者負担や類似事業の有無の判断について〕

委員：本市の水道事業や下水道事業は県内他市と比べて税金が多く投入されている結果、料金が安くなっていると考えている。受益者ではない市民からの税金が使われているにもかかわらず、内部評価で受益者負担は適正と判断していることに疑問がある。

また、類似事業の有無については、下水道は農業集落排水などが挙げられるのではないかと。(意見)

〔空き家バンクについて〕

委員：空き家バンクは、詳細情報をもっと頻繁に更新すべきではないかと。

事務局：担当に確認したうえで情報を提供するようにいたします

〔オープンスクールについて〕

委員：栃木農業高校のオープンスクールに子供と一緒に参加してとてもよかった。市民に対してもっとPRしたほうが良いと思う。(意見)

〔市民会議の開催時間帯について〕

委員：数年来市民会議に参加しているが、開催時間帯が平日の夜というのは小さい子供がいる家庭では厳しいと思う。

事務局：休日の昼間等も検討したことはあるが、昼間働いている方や、高齢者を含む多くの市民の皆様が参加可能な時間帯ということで現在の時間となっている。ただし、コロナ禍において会議の開催方法も変化しており、今回の意見も貴重な意見として今後の参考としたい。

〔成果指標の設定について〕

会長：成果指標の設定については、毎年評価する必要から、5年に一度しか結果が出ない市民満足度等を設定することには疑問がある。(意見)

4 その他

事務局より連絡

次回の市民会議全体会の開催は令和5年2月21日(火)を予定